

かなざきひさの町政報告

www.kanazaki-hisa.com

学校給食センターの建設決定

・学校給食センター建設予定地は、 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)！

この土地は、葉山牛の牧場建設を希望している事業者からの無償提供の申し出がありました。

町は取り付け道路拡幅のため、900万円の予算化をし、セットバック用地を購入しました。しかし、事業者は未だ、道路整備にも手をつけておらず、牧場計画も明確に示していません。

土砂災害特別警戒区域の解除のためには、牧場予定地の盛土をすることが必須条件です。盛土が完了した後、神奈川県の査定を経て、許可が下りれば、解除となります。

逗子市のイエローゾーンでの人身事故を踏まえ、解除は難しいのではないかと私は思います。

学校給食センターは令和4年9月から開始の予定です。牧場開始の時期は未定なので、数年間はレッドゾーンの中での給食センター運営となります。その間、何事も無く運営できれば良いのですが、想定外のことが起きるのが昨今の実情(新型コロナや4/18の豪雨による南郷地区の崖崩れなど)です。

町長質問において

「この地での給食センター設置は、政治生命をかける覚悟を持つての事業計画なのか、その決意を伺いたい。」

という私の問いに対する町長の返答は、

「議会が責任ある議決権を行使してほしい。」

ということで、その責任は議会に託されました。

私は、責任は取れない、と態度表明をしましたが、議会は賛成多数で可決の判断をしました。

反対者：金崎ひさ・山田・窪田・近藤の各議員

賛成者：飯山・中村・伊藤・石岡・鈴木・荒井・笠原・土佐・待寺の各議員

TOPIC3 令和4年9月から中学校も完全給食を予定。

建設を予定している学校給食センター化によって、

- 1 より徹底した衛生管理
 - 2 細かな食物アレルギー対応
 - 3 最新設備による献立の充実
 - 4 中学校完全給食実施
- が可能になります。学校給食法では中学校も完全給食を推奨されていて全国的にも標準化してきています。既存の給食室が老朽化して改修の時期であるため、施設管理上、合理的にもなります。



皆さま、広報葉山3月号の6ページに掲載されたこのようなお知らせをご覧になりましたか。

待ち望んでいた中学校給食ができることを楽しみにしている方も多いと思います。しかし、現実には数多くの問題を含んでおり、議会で議論が続いている最中に、このお知らせが、皆さまのもとに届きました。

その後、令和2年度の予算案が賛成多数で可決され、学校給食センターの建設を、議会としても承認したことになりましたが、さまざまな懸念があります。皆さまと共に考えていきたいと思っております。ご意見をお寄せください。

今後の予定される大規模整備事業

・学校給食センター(16億1千万円) ・クリーンセンター再整備・廃炉等(12億円)

・公共下水道事業(37億円) ・学校を含む14カ所の公共施設修繕等工事費試算(260億円)

優先順位が必要！



○ かなざきひさの一般質問（令和2年3月18日）



(1) みんなの公共施設未来プロジェクト推進事業について

質 問	答 弁
広報葉山にシリーズで載せているのは、町民の皆さまと一緒に考えて欲しい、との趣旨か。	公共施設の現状をお知らせし、ファシリティーマネージメント（F M）会議の様子なども追々掲載していく。（政策財政部長）
F M会議とは。	参事・部長職・公共施設課・教育総務課で構成。そして、事業本部として若手及び公募の職員・政策課・子ども育成課も参画している。（政策財政部長）
公共施設の再整備に関する町民との対話は。	令和2年度にタウンミーティングを開催し、F M会議で保有・保全の方針をまとめ、3年度にもあらためてその方針についての意見を伺う。（町長）
公共施設の劣化診断は14カ所済ませたが、残りの施設の診断は。	保有・保全の方針がまとまった後、必要な施設に関して劣化診断を行う。（政策財政部長）
福祉的公共施設は民間移管との方針が出ているが、葉山はばたきの今後は。	障害者福祉計画に民間移管を明記するようまとめていきたい。（町長）
<p>！ ひさの考え <i>Hisa's Opinion</i></p>	<p>公共施設は全てが老朽化しており、現状の規模で維持していくには、14カ所で240億円の経費がかかると、劣化診断の結果がでました。再配置のために皆さまの意見を参考にして、進めなければならない大きな課題です。町として意見聴取をするとの答弁を得ましたので、機会を捉えて、発言してください。</p>

(2) 町立小・中学校について

質 問	答 弁
公共施設として大半を占める学校施設についての再整備を伺う。	現状のものを小・中一貫の形にしていくときに、どういう再配置が可能か考えていく。（教育長）
4小学校と2中学校を活かしての小・中一貫校とは。	同一敷地内と分離型が考えられる。9年間のカリキュラムを一貫校として考えることができるので、校舎が分離していても可能である。（教育長） 将来、少子化で学校の統廃合を考えなければならない時には、建物としては葉山小学校と上山口小学校は保持したいと思っている。（町長）
新型コロナウイルス感染予防対策のため、休校措置が続き、小・中学校のグラウンド開放をしている。それを高校生は使用できないとのことだが、その理由は。	万が一のトラブルを懸念して、小学生、中学生のみの使用としている。（教育部長）
町内の高校生はどうすればよいのか。	役場で高校生から質問を受けたことがあり、その時は、南郷公園とか地域の公園を、と伝えた。（福祉部長）
各小学校で卒業生の人数が違うので、それぞれの独自性を持って、卒業式の開催ができるのではないか。	今回は例外を認めず、原則論を守っていただくこととしている。（教育長）
学校ホームページの充実を望むが。	現状では、町のホームページのシステムを利用しており、6校同じフォーマットで、アクセス権限があるのが校長のみとなっている。（教育部長）
ホームページ大賞を取ったことがある広島県の小学校では、ホームページに関するクラブ活動を立ち上げ、一人の先生が生徒と一緒に随時情報を更新している。ICTに得意な先生が担当し、各校、独自性のあるホームページにしてはいかがか。	教員がICTに関する知識をもっているかどうかは、現実的には厳しい。研修を重ねていく必要がある。（教育長）
ICT環境整備のため2,800万円も予算化されている。せめて、休校中の課題とか問い合わせとか、ホームページを保護者等との連絡のツールとなるようすべしと思うが。	強く説き伏せて、3年がかりで、やっと今のホームページになった。双方向型にできるよう、さらに努力をしたい。（教育長）
図書室を、生徒が集まり、くつろぎ、読書を楽しむ空間にした先進事例がある。参考にして欲しいが。	楽しめる学校施設の事例研究は大切と考えている。参考にしたい。（教育部長）
<p>やればできる！</p>	<p>新学期になっても休校が続く今、やっと教育委員会は課題等の配信等にPCを活用することに踏み切りました。各学校で教職員の希望者を募り準備しているそうです。これを機に各校独自性を持った、双方向のホームページになることを期待しています。</p>